

**きずな**

2007年 7月19日

NO 658

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (62-6200)

## 日本共産党はこんな政党です。

### いまこそ、確かな野党が必要です

「政治が『貧困と格差』をひどくしているのでは」「『愛国心』とか改憲にだけ熱心で、危険な感じ」  
いま、政治をあやぶむ声があがっています。

### 増税・改憲 自・公の暴走政治から国民を守る

庶民には耐えられない増税・負担増、大企業・大資産家には大減税 自民・公明の政治は、「逆立ち」政治をひどくしています。  
安倍首相は、「戦後レジーム(体制)からの脱却」といって、いまの憲法のもとで国民がきずいてきた民主主義や平和をぶちこわそうとしています。  
この自・公の暴走政治にたいして、日本共産党は「たしかな野党」として、国民の立場で正面から立ちまわっています。

### 民主党の腰がさだまらないのは

「対決」をいう民主党はどうでしょう。さかんに「格差是正」をいいますが、それなら「貧困と格差」をひろげる法律にずっと賛成してきたことを反省すべきです。「9条を変える」「大企業の利益優先」 自民党政治と同じ土台にたっている、口でいくら「対決」をいっても力にはなりません。マスコミからも「存在感がない」といわれています。

07年度

民主が、自民・公明の悪政に国会で賛成した例

1.7兆円

#### 庶民への増税

定率減税の廃止など

#### 大企業への減税

減価償却制度見直し、

1.7兆円

証券優遇税制の延長など

派遣労働の原則自由化

国民健康保険証とりあげ

介護保険の改悪

児童扶養手当の削減

### 草の根の力で政治を動かす

日本共産党は、「たしかな野党」として、国民の切実な願いを実現する仕事に力をそそいでいます。国保や介護の負担ひき下げ、「サービス残業」の根絶、子どもの医療費の無料化、憲法9条をまもるネットワーク...。国民のみなさんと力をあわせて実現した数かずの実績があります。

### 政治のゆきづまりを打開する たしかな改革プランをもっています

私たちはもちろん、いつまでも野党のままでいいとは思っていません。自民党政治を大もとから変え、「国民が主人公」の新しい政治をつくる民主的な改革プラン=綱領をもっています。そして私たちは、目標で一致し、共同する意思をもつ人びとが力をあわせて「連合政権」をつくるプログラムをもっています。だからいま、「たしかな野党」として自・公の悪政とキッパリ対決できます。

読者ニュース「きずな」に対するご意見や情報をしんぶん赤旗の配達・集金者にどしどしお寄せください。

# 自民が改憲パンフ 海外派兵のため「自衛軍」化

自民党が参院選で本格的な憲法論議をするよう改憲問題の解説パンフレット『自由民主党 新憲法草案のポイント』を発行していたことが5日分かりました。その中で改憲手続き法による調査専念期間（3年間）の解除直後に「憲法改正の発議」ができる、自衛隊を「自衛軍」とするのは海外派兵のため、などの本音を盛り込んでいます。

問題のパンフレットは中山太郎・同党憲法審議会会長が主導して作製したものです。33ページにわたり23の項目について問答形式で解説。巻頭で中山氏は「我が党のすべての候補者のみなさんに正確にご理解いただくために、取り急ぎ、作成した」とその意図を述べています。

また冒頭では、今回参院選での選出議員の6年の任期内に改憲発議が可能になるとして、選挙中に本格的な憲法論議をかわす必要を強調しています。



改憲手続き法では、改憲のための国民投票制度が施行されるのは三年間の「調

査専念期間」（いわゆる凍結期間）を経た2010年5月以後。仮に改憲日程が具体的に進むとしても改憲原案の審議は、その後から始まる、というのが一般的な解釈です。



ところがパンフレットでは「3年間は、漠然とした憲法論議しかできない期間などでは全くなくて...『改憲の是非とその具体的な項目の抽出』を行う調査期間であり、この『調査専念期間』の解除後は、直ちに憲法改正原案の審査・起草、そして衆参両院の3分の2の議決を経ての『憲法改正の発議』に直結することとなるものなのです」と明記。凍結期間明け即改憲発議へ直結だと宣言しています。

現行9条の2項を削除し、自衛隊を「自衛軍」と変えた点については「自衛隊は、海外に出ると、世界の常識に照らし合わせて、軍として扱われます」「自衛隊が国際社会の要請に応じて世界でさまざまな活動に従事するようになった現在、この（自衛軍でないこととの）矛盾が、大きな支障となっています」と記述。自衛隊の海外派兵先にありきの9条改悪というねらいが明らかにされています。

部内資料（この赤旗読者ニュースはしんぶん赤旗読者に限って配っています）

生活に役立つ勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください。（月額 日刊紙2,900円 日曜版800円）